

地域づくり活動の行動計画

熊本赤十字病院

2024年度
地域緩和ケア連携調整員研修 ベーシックコース

【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名(職種)
熊本赤十字病院 がん相談支援センター	荒金 太 (医師)
熊本赤十字病院 血液腫瘍内科	大戸 雅史 (医師)
熊本赤十字病院 療養支援室	野添 美和 (看護師)
熊本赤十字病院 入退院支援課	浦田 美穂 (MSW)

① 選定した地域の課題

- ・ 市外の緩和ケアを行う医療機関、診療所がわからない 患者が集中するが市外のリソースが少ない
- ・ 地域の拠点病院などの窓口になる担当者を決めていない
- ・ 医師が開業医と直接やり取りして相談している
- ・ 地域の病院が何ができるできないを知らない
- ・ 遠方地域から治療に来られる患者が地域にもどるため、緩和ケアを行っている病院を開拓する必要がある

地域のリソースが少ない

② どんな地域を目指すのか

患者さんが望む地域で同じように緩和ケアを受けられ、地域全体で緩和ケアを受け入れて支えることを目指す

③ 目指す地域を実現するために取り組むべきこと

- ・ 市外の緩和ケアを行う医療機関、診療所を調査する
- ・ 患者が集中するが市外のリソースが少ない 情報収集する
- ・ 遠方地域から治療に来られるPTが地域にもどるため、緩和をしていない病院を開拓していく
- ・ 地域の拠点病院などの窓口になる担当者を決める
- ・ 地域の病院が何ができるできないを知る

地域の診療所のリソースを把握する

④ 具体的な行動計画と ⑤ 目標達成時期

計画立案； 3月末までに

1) 院内に今ある情報を集約する

連携室の情報をまとめる

→現在よく連携している病院の情報135施設

がんにかかわる診療科の情報

→輸血可能な病院 CART など

時期：7月めど

2) リソースの情報を集める

連携病院、医師会、薬剤師会情報を

→熊本県・熊本市のHPに掲載されている情報を参照し

調整したことがある施設の詳細情報を集める

訪問看護STから情報を得る

院内の地域医療推進課へ協力依頼する

→連携している病院の最新情報を確認し集計する

時期：11月頃まで

④ 具体的な行動計画と ⑤ 目標達成時期

3) 緩和ケアマップにまとめる 現状のバージョンアップ

- 入院、在宅の情報、薬局の麻薬の取り扱いの情報をまとめる
- 緩和ケア病棟がある病院
- 緩和ケアが可能な診療所
- 医療圏と阿蘇、菊池、玉名、天草地域の中核病院の窓口
- 時期：来年度内

4) 作成した緩和ケアマップについてアンケートを取り 評価する（緩和ケアに関わる連携室、外来スタッフ）